

大分県書道 令和6年度後期 特別資格試験 課題

(令和7年2月27日(木)必着)

種類	用紙の大きさ	課題	備考
1、漢字条幅	(半切) 縦に使用	前時雪壓無尋處 昨夜月明依舊開	前時雪 ^{ぜんじゆきあ} 圧 ^あ して尋 ^{たず} ねる処 ^{ところ} 無 ^な く 昨夜月 ^{さくや} 明 ^{あき} らかにして旧 ^{きゆう} に依 ^よ つて開 ^{ひら} く (朱熹)
2、楷書	半紙	寒雁遠横空	寒 ^{かん} 雁 ^{がん} 遠 ^{とお} く空 ^{そら} に横 ^{よこ} たわる (徐鍇)
3、行書	半紙	寒雁遠横空	寒 ^{かん} 雁 ^{がん} 遠 ^{とお} く空 ^{そら} に横 ^{よこ} たわる (徐鍇)
4、草書	半紙	寒雁遠横空	寒 ^{かん} 雁 ^{がん} 遠 ^{とお} く空 ^{そら} に横 ^{よこ} たわる (徐鍇)
5、隸書	半紙	寒雁遠横空	寒 ^{かん} 雁 ^{がん} 遠 ^{とお} く空 ^{そら} に横 ^{よこ} たわる (徐鍇)
6、篆書	半紙	寒雁遠横空	寒 ^{かん} 雁 ^{がん} 遠 ^{とお} く空 ^{そら} に横 ^{よこ} たわる (徐鍇)
7、随意	半紙	県書道の課題以外の古典を臨書する。(五〜六字)	法帖名を受験票・出品票に書くこと。
8、仮名条幅	(半切) 縦に使用	年をへて花の鏡となる水は ちりかかるをや曇るといふらむ	年をへて花の鏡となる水は ちりかかるをや曇 ^{くも} るといふ ^う らむ 伊勢(『古今和歌集』四四 平安時代前期)
9、仮名	(料紙) 半紙	雲海や鷹のまひるる嶺ひとつ	雲海や鷹のまひるる嶺ひとつ (水原秋櫻子)
10、調和体	半紙	晩冬の候 余寒の候 春寒の候 立春を迎え、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。 余寒厳しき折から、くれぐれもご自愛ください。 (市町村名 姓名又は姓号)	①行書で書くこと。 ②行変えは自由。 ③市町村名、姓名(または号)を書くこと。
11、実用書	半紙	巳年が始まった。脱皮を繰り返して成長するへびには再生というキーワードが重なってくる。せめて気持ちの上では、いつしかまとった「邪魔な殻」を脱ぎ捨て、人生の現在地を再認識してみたい。 (市町村名 姓名又は姓号)	①行書で書くこと。 ②各行の文字数や行数などの配列は、自分で考えて書くこと。 (大分合同新聞の記事より)
12、硬筆	本会競書規格用紙 5・6年 中学 一般用	巳年が始まった。脱皮を繰り返して成長するへびには再生というキーワードが重なってくる。せめて気持ちの上では、いつしかまとった「邪魔な殻」を脱ぎ捨て、人生の現在地を再認識してみたい。 (市町村名 姓名又は姓号)	①行書で書くこと。 ②各行の文字数や行数などの配列は、自分で考えて書くこと。 (大分合同新聞の記事より)